

平成29年度 英語が好きになる学校づくり事業 取組報告書

| | | | | | |
|------|------|-----|-----------|-----|--------------|
| 事務所名 | 沿岸南部 | 学校名 | 住田町立有住中学校 | TEL | 0192-48-2020 |
|------|------|-----|-----------|-----|--------------|

英語での自己表現や他者とのコミュニケーションに、意欲を持って取り組む生徒の育成
～英語で伝わる・分かり合えることの喜びを実感できる授業づくりを通して～

【ねらい】

- 英語で伝わる・分かり合えることの喜びを実感できる活動の工夫（教師の授業づくりの工夫）
- 英語や異文化に興味・関心をもつことができる環境作りの工夫（学校体制としての環境づくり）

【具体的な取組】

【教師の授業づくりの工夫】について

(1) 授業づくりの工夫

・各種調査結果を基にした実態把握を行い、目標の設定を行う。（箱囲みは取組計画書の項目）

*正答率や数値は抜いてあります。

例) 現2年生 中1 CAN-DO テスト結果 合計正答率 本校 % 県 %

| 正答率が40%以下の小問題 | 領域・観点 | 本校 | 県 |
|--|-------|----|---|
| 基本的な動詞を聞き取り、正しく書くことができる。(want) | 知識・理解 | | |
| 対話文の内容を正しく読み取り、その内容に合うイラストを選択できる。 | 理解 | | |
| 主語が三人称の場合の助動詞 (does) を正しく書くことができる。 | 知識・理解 | | |
| 「どのように」と手段をたずねるときの疑問詞 (How) を正しく書くことができる。 | 知識・理解 | | |
| 場面に応じた英文を書くことができる。(許可を求める場面) | 表現 | | |
| 場面に応じた英文を書くことができる。(どちらか選択を求める場面) | 表現 | | |
| 県の正答率より5ポイント以下の小問 | 領域・観点 | 本校 | 県 |
| 文の書き方(語と語の区切り、「」 「,」 の符号、文頭の大文字) にしたがって、文を正しく書くことができる。 | 知識・理解 | | |
| 英語の広告や案内などから必要な情報を探し出して読み取ることができる。 | 理解 | | |
| 場面に応じた英文を書くことができる。(許可を求める場面) | 表現 | | |

◎上記のように諸調査を活用し、落ち込みの大きい観点・領域・小問などを洗い出し、細かく分析することで、課題が明確になり、目標の設定が行いやすくなった。

・取組計画の中に「パフォーマンステスト」を盛り込み、評価の在り方と共に研究する。

【パフォーマンス評価構想表】 *授業改善方策シート 1年1学期より

| 評価技能等 | 評価時期 | 実技(パフォーマンス)の内容・評価方法 | CAN-DO 対応 | 実施状況 |
|-------|-------------|---|-----------|------|
| 読むこと | Program1② | ・基本的なフォニックスを憶え、英語らしい発音で簡単な単語を発音することができる。 | R1 | ○ |
| 書くこと | Program1③ | ・アルファベットの大文字・小文字を正しく書くことができる。 | W2 | ○ |
| 読むこと | Program2の最後 | ・Program2の音読テスト(短縮形 I' m や you' re、音の連結 meet you) | R1 | ○ |
| 話すこと | Program2の最後 | ・国際教育主事からの Are you ~? の3つの質問に、Yes / No に十ひと言付け加え、答えることができる。 | S1 | ○ |
| 話すこと | Word Web1 | ・国際教育主事からの How old are you? / What' s your phone number? / How much is it? の3つの質問に、適切な数字を使い答えることができる。 | S1 | ○ |

| | | | | |
|------|--------------|--|-----|---|
| 読むこと | Word Web 1 | ・0~1000 までの数字を正しく発音することができる。 | R 1 | ○ |
| 話すこと | Program3① | ・一般動詞を使い、5文以上の英語で自己紹介ができる。 | S 3 | ○ |
| 書くこと | Program3① | ・一般動詞を使い、5文以上の英語で自己紹介文を書くことができる。 | W1 | ○ |
| 話すこと | Program3② | ・国際教育主事からの Do you ~? の3つの質問に、Yes / No に十ひと言付け加え、答えることができる。 | S 1 | ○ |
| 読むこと | Word Web 1 | ・英語の曜日と天候を正しく発音することができる。 | R 1 | ○ |
| 書くこと | Word Web 1 | ・英語の曜日と天候を正しく書くことができる。 | W2 | ○ |
| 話すこと | Program4 の最後 | ・国際教育主事からの What do you ~? / How many ~? を用いた3つの質問に、適切に答えることができる。 | S 1 | ○ |
| 話すこと | My Project1 | ・一般動詞を使い、10文程度の英語で自己紹介ができる。 | S 2 | ○ |
| 書くこと | My Project2 | ・一般動詞を使い、10文程度の英語で自己紹介文を書くことができる。 | W1 | ○ |
| 話すこと | 1 学期末 | ・1学期に学んだ Q&A を用い、国際教育主事と簡単な会話をすることができる。 | S 1 | ○ |

◎1年生は2学期までに、合計32回のパフォーマンステストを行った。2、3年生も、昨年度よりパフォーマンステストを大幅に増やして実施した。今後、年間を見通した評価計画作成と共に精選を図る。

・表現活動の工夫。「話す」「書く」活動を重点的に行う。

◎話す活動では、今年度から CAN-DO リスト「話すこと」の領域が（やりとり）と（発表）にわかれたことを踏まえ、特にも即興的なやりとりを、授業やパフォーマンステストに取り入れた。書く活動では、主に授業中に自分で考えアウトプットした言葉を、その場ですぐに書かせ添削する（話す→書くが連動した）活動を実施した。

・研究授業の計画づくりを通じて指導力の改善を目指す。

◎本校は英語科教員が1人のため、教科指導に関して、日常的に情報共有や実践交流を実施することはできないため、住田町の指導主事の指導を仰ぎながら、計画づくりや指導力の改善を行った。

・単元カードを作成し、ゴールの共有と達成状況の振り返りを行う。

| 2年 単元シート Program6 A Work Experience Program | | | |
|---|---|---------------------------------|------|
| ゴールの活動 | 職場体験について5~10文程度のスピーチができる | | |
| 単元の目標 | 職場体験について5~10文程度のスピーチができる。 | | |
| 時 | ＜各時間の目標＞ ゴールに向けての活動 | ＜学習の振り返り＞ できたこと・できなかったこと・改善点 | 自己評価 |
| 1 | ・自分のしたいこと、やりたい職業について話したり、書いたりすることができる。 | | |
| 2 | ・聞き手に正しく、効果的に応答するスピーチができる。 | | |
| 3 | ・職場体験で行った場所や取り組みなどについて、目的を入れながら、話したり書いたりすることができる。 | | |
| 4 | ・聞き手に正しく、効果的に応答するスピーチができる。 | | |
| 5 | ・自分がすべきこと、しなければならぬことなどを、話したり書いたりすることができる。 | | |
| 6 | ・聞き手に正しく、効果的に応答するスピーチができる。 | | |
| 7 | ・職場体験について5~10文程度のスピーチを作成し、ポイントを意識して練習をすることができる。 | | |
| 8 | ・職場体験について5~10文程度のスピーチをすることができる。 | | |
| 曜日 | ・スピーチの書き取りテストを行います。 ・スピーチ原稿を添削してもらい、提示します。 | | |
| 評価規準 | A:よくできた B:ほとんどできた C:あまりできなかった D:できなかった | | |
| ＜単元を終えての感想・反省＞ | | | |

Program6 私の職場体験

＜About My Work Experience＞

Hello, everyone.

I'm going to talk about my work experience.

I went to the Sogo pharmacy in Sumita.

In the future I want to be a pharmacist.

Because choosing and mixing medicine is interesting I want there to learn about waiting on customers, mixing medicine, and other things.

I was tired, but I had a good time.

I'll study math and science a lot.

Thank you for listening.

Japanese

こんにちは、みなさん。私は職場体験のことについて話します。私は住田のそごう薬局に行きました。私は将来薬剤師になりたいです。なぜなら、薬を学んだり調剤をするのがおもしろいからです。私がそこに行き学んだことは、受付の仕事と調剤の仕事です。うかれたいほど、長い時間を過ごしました。私は数学と理科をたくさん勉強したいです。家に帰って勉強したいと思います。



◎単元終了後、作成した原稿や作品を掲示することでゴールの共有と振り返りになった。また、互いに見合うことで参考にしたり、次への意欲につなげたりすることができた。



◎単元・毎時間のゴールと、自己評価・振り返りができる単元カードを使用した。子どもたちにとってのゴールがわかる安心感と、目標達成への意欲につなげることができた。

(2) 他領域の学習活動での実践に学ぶ

- 「人間関係形成力」の育成を目指した実践を交流する、町のグローバル学習研究部会での指導方法の研究実践事例を参考にする。(小学校外国語活動、高等学校英語、他教員の実践)

◎住田町のグローバル学習研究部会内で、今年度も授業交流を行った。毎年部会には町内の保育園、小学校、中学校、高校の先生が所属し、5月に行われる第1回部会で予定と計画を立て、主に授業参観を中心に交流を行っている。また、保育園、小学校、中学校には、住田町国際教育主事の外国人教員が週に1度訪問し、先生方と授業を行っている。



世田米保育園



有住小学校



住田高校

【学校体制としての環境づくり】について

(1) 英語検定等の外部試験受験推奨

- 住田町の英語検定試験全額補助事業を活用し、生徒自身が計画的に受験を目指すことができるよう支援する。全員受験を目指す。

◎平成28年度より、住田町は町内の学校の英語検定受験料を全額補助している。この補助制度を生かし、昨年度より10月に行われる第2回検定は、学校体制で全員受験を基本としている。

◆全校の英語検定受験率の推移

*H28、H29 欠席1名

| | H26 | H27 | H28 | H29 |
|--|-----|-----|-----|-----|
| | 64% | 69% | 96% | 96% |

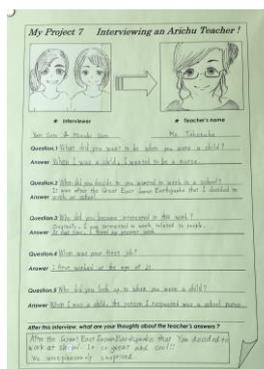
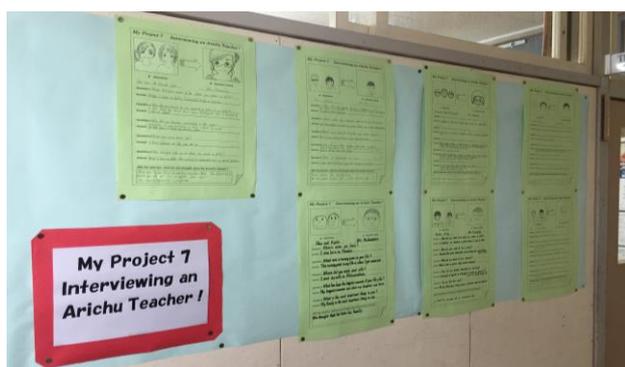
(2) 英語に触れる環境づくり

- 校内に英語の表示を積極的に取り入れる。

◎校舎内の表示を、副校長先生や用務員さんの協力を得て、すべて英語表記に変えた。住田町は林業の盛んな町ということで、表示板は木材を用いたものとした。



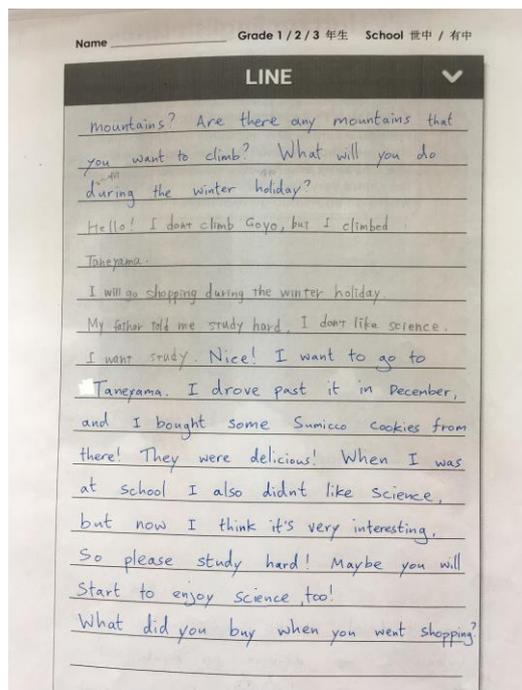
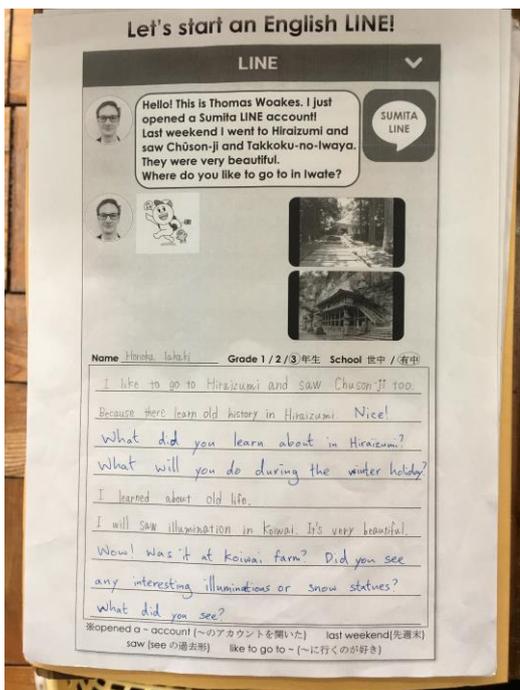
- スピーチ原稿等を掲示し、様々な意見や表現を互いに共有する。



◎スピーチやインタビュー原稿を各学年の廊下に掲示し、互いの良いところ、参考になる表現を中心に意見や考えを共有した。また、1、2年生は3年生の作品を目にすることで、表現の豊かさや語彙の多さなど、様々な刺激をもらい、あこがれや目指したいと思う気持ちが芽生えたようだ。



・外国人教員との英文によるメッセージ交換活動（紙面上に書く形式）を昨年度に引き続き継続する。



◎外国人教員との英文によるメッセージ交換を昨年度より行っている。外国人教員がその都度トピックを決め、やりとりをしていく。提出は任意。また、おおよその文脈が理解できれば、単語や文法の間違いは添削しない。初めの頃は恥ずかしさや間違えることへの不安から提出をためらう生徒が多かった。 ←

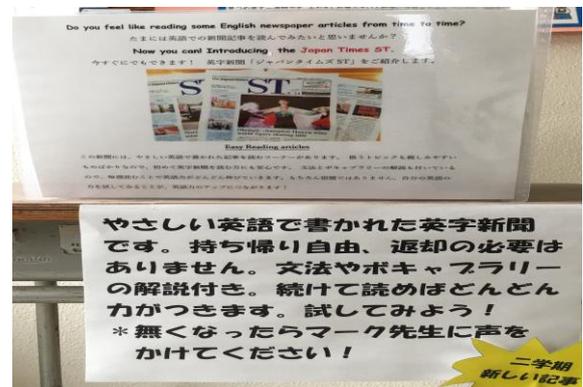
しかし前述のとおり、伝えたい、書いてみたいという意欲を第1に優先し、極力添削をしないこと、また外国人教員が丁寧に気持ちを込めて返信をしてくれていることで、提出率が向上してきている。また、テストや諸調査における無答率の低下や、表現力（書くこと）向上としての効果が現れている。

(2) 異文化に触れる環境づくり

- ・掲示物等で外国の文化に親しめる場を提供する。



◎易しい英語で書かれた物語。カードに名前を記入し、いつでも借りることができる。



◎中学生向けの簡易な英字新聞。外国人教員が毎週更新していく。持ち帰り自由。



◎外国人教員が、学校の先生方からアンケートを取り、その結果を校内に掲示物としてまとめた。生徒たちは教科外の先生方の意外な一面を、英語を通じて知ることができ、心理的距離も縮まった。自分も表現してみたという意欲にもつながっている。



・住田町で行っている中学生海外派遣事業で訪問する学校との交流。交流後、訪問した生徒に学校で体験をプレゼンテーションしてもらい、全校で異文化への興味・関心を深める場を設ける。

◎毎年住田町では、中学2年生を対象に、海外派遣研修を実施している。今年は平成30年1月4日（木）～12日（金）の行程で、アメリカ・サンディエゴでホームステイ、学校訪問、異文化交流などを行ってきた。今年度のプレゼンテーションはまだ実施していないが、日程を調整し行いたいと考えている。



← 昨年のプレゼンテーションの様子

・外国人教員による英語での調理実習授業を行う。



◎3年生でタコス作りを行った。外国人教員が英語で指示を出しながら調理をしていく。簡易な英語とジェスチャーなども交えながらなので、子どもたちも楽しそうに取り組んでいた。タコスは、上記した海外派遣事業で訪れる、カリフォルニア州サンディエゴで親しまれているメニューで、派遣されている生徒とも現地の雰囲気共有できる。



【成果】

成果①

◎学校体制で英語に触れる環境づくりを実施したことで、英語学習や英語を運用することに対する興味・関心の高まりがみられた。◆英作文 無回答率の減少（岩手県学習定着度状況調査より）

H28 →無回答率 英作文① 47% 英作文② 60%

H29 →無回答率 英作文① 26% 英作文② 36%

成果②

◎授業づくりの工夫を通して、Can-Do リストの見直しやパフォーマンステストの実施と評価の在り方を再考できた。

◆今回の事業における研究授業で取り組んだ部分は、『話すこと（発表）①自分や他者について、5～10文程度のまとまりのあるスピーチができる』であった。事業を通じて、適切な発音やスピード、表情やジェスチャーなどもCan-Do リストに盛り込みたいという来年度への方向が見えた。

◆パフォーマンステスト実施回数の増加（1学年1学期パフォーマンステストの実施回数）

・28年度1年生 6回（話す4回 書く2回）・29年度1年生 15回（話す7回 書く4回 読む3回）パフォーマンステストの実施回数が増加したことで、様々な領域の良い点・改善点が見え、評価や今後の指導に役立てることができた。

成果③

◎各種調査で生徒の英語力向上がみられた。

◆英作文 解答率の向上（現2年生の1年時と2年時における対県比 経年比較）

「岩手県Can-Doテスト（1年時）」 英作文①128.0 英作文②100.3

「岩手県中学校学習定着度状況調査（2年時）」 英作文①163.5 英作文②144.2

◆「平成29年度 岩手県学習定着度状況調査」の全領域・観点で対県比100以上（現2年生）

| | | | |
|----------|-------|-----------|-------|
| 聞くこと（領域） | 108.2 | 理解の能力（観点） | 110.9 |
| 読むこと（領域） | 112.5 | 表現の能力（観点） | 119.8 |
| 書くこと（領域） | 104.8 | 知識・理解（観点） | 101.5 |